

令和2年度各会計予算案の大綱



次に、令和2年度各会計予算案の大綱について、ご説明申し上げます。

令和2年度の予算編成は、令和8年度までを実施期間とする「滝川市第2期財政健全化計画」のうち事務事業見直し分を反映させた予算編成となり、新たな課題の対応と将来に向けた投資を図るなど、市民が安心して暮らせるまちづくりを目指した予算となるよう編成したものです。

令和元年度に策定した滝川市第2期財政健全化計画及び滝川市立病院経営改善計画の着実な取り組みにより直面する課題に向き合い、将来への改善策を制度設計するとともに、総合計画の7つの柱に基づき、予算を計上しました。

この結果、

一般会計	209億 7,400万円
特別会計	97億 7,345万円
下水道事業会計支出	25億 7,017万円
病院事業会計支出	79億 5,423万円

となり、各会計の歳出総額は412億7,185万円で、令和元年度5月補正後予算と比較して、1.3%の減、金額では5億3,748万円の減となりました。

次に、会計別の概要を申し上げます。前年度比は令和元年度5月補正後予算との比較になります。

一般会計におきましては、前年度に対して9,068万円増となる予算としましたが、地域経済の活性化を図るため、道路新設改良事業などの実施、農村環境改善センター改修工事などを一定程度盛り込んだほか、ふるさと納税による寄付金額の予算増に伴う関連経費の増や市立病院への経営支援などによる増により、

予算額 209億7,400万円で、前年度比0.4%増となっています。

性質別にみますと、

人件費については、会計年度任用職員制度の施行などにより、

予算額 34億6,966万円で、前年度比1.6%の増

物件費は、会計年度任用職員の制度移行による賃金の廃止などにより、

予算額 23億8,669万円で、前年度比0.1%の減

扶助費は、児童扶養手当の減などにより、

予算額 36億3,991万円で、前年度比2.2%の減

建設事業費は、農村環境改善センター改修工事などの増により

予算額 6億9,471万円で、前年度比12.3%の増

公債費は、計画的な借り入れの成果などにより、

予算額 17億5,964万円で、前年度比4.8%の減となっています。

次に、国民健康保険特別会計におきましては、保険給付費の減などにより、

予算額 45億2,215万円で、前年度比3.7%減

公営住宅事業特別会計におきましては、工事請負費の減などにより、

予算額 5億2,123万円で、前年度比36.3%減

介護保険特別会計におきましては、

保険事業勘定は、保険給付費の減などにより、

予算額 39億4,563万円で、前年度比2.3%減

介護サービス事業勘定は、管理代行負担金の減などにより、

予算額 7,377万円で、前年度比1.8%減

介護保険特別会計総体では、

予算額 40億1,940万円で、前年度比2.3%減

後期高齢者医療特別会計におきましては、後期高齢者医療広域連合納付金の増などにより、

予算額 6億5,534万円で、前年度比2.9%増

土地区画整理事業特別会計におきましては、西二号通の工事費の減などにより、

予算額 5,533万円、前年度比29.3%減

下水道事業会計におきましては、企業債償還金の減などにより、

支出額 25億7,017万円で、前年度比4.7%減

病院事業会計におきましては、企業債償還金の増などにより、

支出額 79億5,423万円で、前年度比0.9%増となりました。

次に、普通建設事業費の全体予算について、各会計毎にご説明申し上げます。

一般会計では、

道路新設改良事業費 3億 円

農村環境改善センター改修工事 1億1,000万円

などを含め、総額で 6億9,471万円

公営住宅事業特別会計では、 1億2,828万円

土地区画整理事業特別会計では、 1,500万円

下水道事業会計では、 6億3,451万円

全体で前年度比15.7%減の 14億7,250万円 を計上しました。

引き続き、施策の主なものについて、ご説明申し上げます。

はじめに、「元気な産業と活力あるまちづくり」についてです。

農業を起点とした元気な地域産業づくりについては、

農業分野への進出企業や特産品の販路拡大などを支援するため、

企業連携支援事業費 93万円 を計上しました。

持続可能な農業のための生産基盤・体制の確立については、

農業生産基盤や基幹農業水利施設の整備のため、

道営土地改良事業負担金 1,000万円

道営土地改良事業計画樹立事業負担金 27万円

農地・水路・農道などの地域資源の適切な保全管理を行う地域組織の活動を支援するため、

多面的機能支払交付金 1億3,980万円 を計上しました。

力強い産業の育成・雇用の確保については、

産業振興・雇用創出・地域経済活性化の取り組みを支援するため、

滝川市産業活性化協議会負担金 320万円

地域産業の外国人人材活用に向けたネットワーク構築とモンゴル国における人材育成のため、

自治体職員協力交流事業費 1,059万円

森林環境譲与税を活用して、森林所有者意向調査を実施し、適切な森林管理を推進するため、

森林管理事業費 124万円 を計上しました。

次に、「豊かな資源を活かした魅力あふれるまちづくり」についてです。

滝川市の魅力ある観光資源・地域特性の再認識については、

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会へ出場するアルゼンチン共和国パラカヌーチームの滝川合宿を支援するとともに、共生社会の実現、心のバリアフリー活動を推進するため、

滝川市TOKYO2020ホストタウン推進協議会交付金 420万円 を計上しました。

集客・交流事業の推進については、

地域の優れた観光資源を活かし、観光事業の振興を図るため、

たきかわ観光協会補助金 1,005万円

「総合交流ターミナルたきかわ」の新たな指定管理者とともに、魅力あふれる施設づくりを行うため、

総合交流ターミナルたきかわの指定管理代行負担金 500万円

「たきかわ観光国際スクエア」の本格稼働により、観光客などの受け入れ態勢の充実を図るため、

たきかわ観光国際スクエア活用事業 608万円 を計上しました。

国際化の推進については、

外国人技能実習生等の生活支援や地域・企業への多文化理解促進を図るため、

外国青年招致事業費 2,052万円

外国人受入環境を整備し、外客誘致活動を推進するため、

「地域おこし協力隊員」1名分 377万円 を計上しました。

次に、「機能的な生活基盤の充実したまちづくり」についてです。

コンパクトで機能的な都市の形成については、

都市内交通の円滑化と土地利用の増進を目指し、整地工事及び換地処分等を実施するため、

泉町土地区画整理事業費 3,800万円

公園施設を適正に維持管理し、安全性の確保と長寿命化を図るため、

公園長寿命化計画策定費 3,000万円

町内会などが管理している街路灯のLED灯への切り替えを促進するため、

街路灯設置補助金 1,200万円

市内経済の状況を考慮し、地域経済への波及効果の高い公共事業を実施するため、

普通建設事業費 14億7,250万円 を計上しました。

賑わいのある中心市街地の活性化については、

出店者の初期投資を軽減することで、空き店舗の流動化を促進するため、

店舗リノベーション支援事業補助金 170万円 を計上しました。

住宅ストックの適正管理については、

既存住宅ストックの有効活用により子育て世帯を支援するため、

住宅住み替え支援事業補助金 967万円 を計上しました。

次に、「誰もが住みよい安全安心なまちづくり」についてです。

市内公共交通の充実については、

JR北海道の路線見直しに伴い、根室本線対策協議会において維持存続に向けた検討を行うため、

根室本線対策協議会負担金 10万円

JR北海道が実施する定時性や利便性、快適性の向上などに資する設備投資に対し支援するため、

根室線利用促進環境整備支援金 170万円 を計上しました。

災害に強いまちづくりについては、

防災行政無線をデジタル化し、災害時の情報伝達手段を強化するため、

防災行政無線デジタル化事業費 9,019万円

災害時に必要な備蓄品を確保し、避難所の運営を行うため、

防災備蓄品購入費・避難所等経費 325万円

冬季における道路の安全を確保し、市民生活への影響を最小限に抑えるため、

除雪用車両購入費 3,800万円

安全、安心な消防体制の充実を図るため、

消防指揮車更新事業負担金 137万円

緊急通報システムの充実を図るため、

NET119緊急通報システム導入事業負担金 21万円

緊急通報における訪日外国人対応の充実を図るため、

119番通報多言語対応事業負担金 9万円 を計上しました。

次に、「未来へはばたく子どもたちを育むまちづくり」についてです。

滝川市で教育を受けさせたいと思われる環境づくりについては、

安全で安定した学校給食の提供を図るため、

学校給食調理業務等委託事業費 8,409万円

就学機会の拡大と併せて地域人材の定着などを目指すため、

國學院大學北海道短期大学部修学奨励金 1,300万円

國學院大學北海道短期大学部連携事業補助金 150万円 を計上しました。

滝川市で子育てしたいと思われる環境づくりについては、

非課税世帯の小学生の通院に対して、一部負担金を除く医療費全額を助成するため、

子ども医療費助成事業 335万円

不妊・不育症の治療費用の助成により少子化対策の推進を図るため、

不妊治療支援事業費 200万円

安心・安全な出産をサポートするため、

妊婦健康診査支援事業費 2,183万円 を計上しました。

次に、「市民が活躍するまちづくり」についてです。

市民が生きがいを持って活躍する地域づくりについては、

江部乙地域におけるコミュニティ活動の拠点を形成するため、

農村環境改善センター改修事業 1億1,293万円

滝川開村130年目の節目を迎え、記念事業を実施するため、

滝川開村130年記念事業実行委員会交付金 70万円

市民の健康増進を目的に、老朽化した滝の川のテニスコートを改修するため、

滝の川公園テニスコート改修実施設計 1,300万円

市民の健康増進、世代間交流、地域コミュニティの醸成などを推進するため、

石狩川河川敷パークゴルフ場運営管理事業費 1,991万円

美術自然史館の企画展示を行うため、

企画展事業費 62万円

少子化・定住促進対策として、若い世代のライフプランをサポートするため、

ライフプラン・サポート事業 100万円 を計上しました。

次に、「効率的な行政運営によるまちづくり」についてです。

財政健全化の推進については、

令和元年度に策定の滝川市立病院経営改善計画に基づき市と市立病院が一体となって取り組みを進めるため、

行財政改革推進事業費 2,162万円 を計上しました。

公共施設の一元管理については、

滝川市公共施設マネジメント計画に基づき、持続可能な公共施設運営を図るため、
公共施設修繕事業費 2,538万円 を計上しました。

滝の川斎苑の改築工事については、

老朽化した現在の斎苑を建て替えるため、
滝の川斎苑改築工事費負担金 1億9,079万円 を計上しました。

第三セクターの経営健全化については、

個別事業の見直しや経費節減などによる経営改善を促進し、第三セクターの経営を支援するため、
滝川振興公社貸付金 6億6,500万円 を計上しました。

道路台帳電子化については、

既存の道路台帳を電子化し、道路管理業務の効率化を図るため、
道路台帳電子化 530万円 を計上しました。

次に、これらに見合う令和2年度一般会計歳入の主なものについてです。

市税について、個人市民税は、給与所得の伸びなどから前年比増額で見込み、法人市民税については、税制改正の影響により減額としました。

また、固定資産税・都市計画税については、令和元年度決算見込みを踏まえて増額としました。
収納率については、現年度分98.0%、滞納繰越分10.6%、合わせて89.3%を確保する予算としたところ、市税全体では、

対前年1,034万円減の 43億1,168万円

地方交付税については、普通交付税、特別交付税を合わせて、

対前年7,009万円減の 65億6,500万円

ふるさと納税による寄付金については、令和元年度決算見込みを踏まえて、

対前年2億円増の 9億円

その他の歳入としまして、

国庫支出金 30億5,658万円

道支出金 12億5,673万円

市債 10億1,855万円 を計上しました。

基金繰入金については、令和元年度5月補正後予算と比較し、1億2,857万円増の5億1,484万円を計上しております。

以上、令和2年度の各会計予算案の大綱について、申し上げます。

厳しい財政運営の中にありますが、予算計上に当たっては、継続事業に一定の配慮を行ったほか、将来にわたり市民の皆様が安心して暮らせるまちの実現に向けた取り組みに十分配慮したところです。

市民の皆様、市議会議員の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げ、慎重なるご審議と適切なるご決定をいただきますよう重ねてお願い申し上げます。